

令和2年度 第4回 日進市総合計画審議会 議事録

日時 令和3年1月22日（金） 午後1時30分から午後3時15分まで
場所 日進市役所本庁舎4階 第2・3会議室
出席者 阿部和俊、藤井美樹、市川豊、牧秀次、内田好昭、石野憲男、住田敦子、
水嶋義弘、村瀬公一、数井美津子、津金美智子、鵜飼宏成、高岡俊彦、
原田義弘、宮崎幸恵、齊藤由里恵、酒井信、村上瑞岐、廻間大樹（敬称略）
欠席者 三村剛（敬称略）
事務局 石川達也（総合政策部長）、和田徹（同部調整監）、
杉田武史（同部次長兼企画政策課長）、安彦直美（同課課長補佐）、
河合一成（同課市政戦略係長）、犬飼啓貴（同課同係主任）
志水崇法（同課同係主任）

傍聴の可否 可
傍聴の有無 有（6名）
次第 1 開会
2 あいさつ
3 議題
第6次日進市総合計画について
4 答申
5 その他
6 閉会

配布資料 次第

資料1： 第6次日進市総合計画（案）
資料1-2： 第6次日進市総合計画（案）資料編
資料2： パブリックコメント実施結果（案）について
資料3： 第6次日進市総合計画ダイジェスト版（案）
資料4： 第6次日進市総合計画について（答申案）
資料5： 資料送付以降の修正事項一覧

【議事概要】

発 言 者	内 容
	1 開会
	2 あいさつ
	3 議題
会 長	<p>会議の前に、少しお話しいたします。</p> <p>今回のパブリックコメントを全て読みました。意見には「緑を守ってほしい」といったものもありましたが、日進は将来人口を10万人と予想しておりますので、緑の保全とともに、日進で雇用を生み出し、経済を循環させる観点から考えることも必要となってきます。</p> <p>日進市も、潤沢に予算があるわけではありません。全ての意見を取り入れることはできませんので、バランスを取りながら優先順位をつける。そうして調整してきた結果がこの計画案だと思います。</p> <p>これらのパブリックコメントの意見などを踏まえた上で、本日の会議に入りたいと思います。では、事務局から説明をお願いします。</p>
事 務 局	(資料1から5までを順に説明)
会 長	<p>298もの意見が寄せられたということに、同じ市民として大変心強く思いました。限られた時間ではありますが、皆さまのご意見をいただきたいと思います。</p>
委 員	<p>本日の資料、修正事項一覧に記載されていますが、施策の進捗を表す指標として「地域福祉を推進する協働組織の数」が「福祉まちづくり協議会」と「地域たすけあい会議」の2つに分かれました。この修正は私から指摘させていただきました。</p> <p>地域福祉計画にも携わっていますが、この5年間の進捗に、非常に残念な思いが強く、市民で検討会を立ち上げ、地域共生社会をつくっていこうとしているところです。</p> <p>地域福祉では、地域共生社会を推進するため、子どもも障害者も高齢者も全部含めた住民参加の体制を、地域にどうつくるかが重要ですが、この視点を総合計画の中にも入れてほしかったと思います。</p> <p>また、この中に戦略ということが取り上げられていますが、この計画が日進を変えていくための戦略であれば、各課で必要な予算を検討し、企画政策課がどれくらい関わっていくのかといったことを知りたいと思います。この計画は非常に上手に文章ができていて、修正を言うべきところはあまりないのですが、地域福祉はまだまだ未完成であり、予算がなければ計画を継続的に推進することはできません。この計画は予算取りを含めた上での戦略として書かれたのでしょうか。</p> <p>例えば日進市が社会福祉協議会に委託する際、予算がないため、「地域たすけあい会議」はこの5年間で、市内19区のうち3~4か所しかできていないと思います。</p>

発 言 者	内 容
	<p>戦略を推進するためには、企画政策課を含めて取り組むという覚悟のもとで計画を発表してほしいと思います。示された数字からはそれが伝わってきません。庁舎内での連携が成り立っておらず、予算取りにもつながっていないように感じます。</p> <p>各課と企画政策課との連携が十分に図られていない状況で、この計画の目標が達成されるか疑問です。</p>
会 長	<p>制度の問題や予算の問題、覚悟といった言葉をいただきましたが、これらを踏まえて、事務局からお願いします。</p>
事 務 局	<p>自治体においては、幅広い分野の事業を実施する責任があり、全ての要望にお応えするという事はなかなか難しい点もありますが、一つひとつの事業について、必要性や緊急性に鑑みて実施してまいります。</p> <p>総合計画につきましては、企画政策課だけで策定したものではなく、日進市全体で策定したものとなります。全ての課が計画策定に関わっており、記載された事項は、日進市として責任を持って対応していこうと考えております。企画政策課が事業に参加するか否かに関わらず、こちらに記載されている事業は、今後10年間かけて、日進市として推進すべき事業として取り組んでまいりますので、ご理解いただければと思います。</p>
委 員	<p>何年も進んでこなかった事業について、担当課だけでなく、この計画の中で企画政策課も責任を持って、進めるためにはどうしたらよいのかを考えてもらいたいです。</p> <p>日進市の事業であるにも関わらず、委託事業の赤字を押し付けられているように感じることがあります。戦略として道の駅などに予算を取るといふことであれば、同じく戦略である地域福祉にも予算が確保されるべきであると思います。</p> <p>住民参加の福祉を作るといふことについて、市は住民がやるのを待っているという姿勢に見えます。どうお金を注いで、どのように体制を作るのかを考え、引っ張る力が必要です。コロナ禍で財政がひっ迫する中、住民参加は本当に進めなければならないものだと、皆さんにも強く感じていただきたいと思います。</p> <p>この中で、地域共生社会といふことの捉え方が違っているように感じます。子どもは子どもの施策、高齢者は高齢者の施策として書かれています。私が最初に申し上げたとおり、地域福祉は全てを含んだ地域の助け合いである共生社会をどのように作っていくかといふことをやっていますが、まだ、その姿、形が見えていません。その体制が見えないまま、この計画が今のままでよいのかは疑問です。もう少し、大きな視点でこの計画が作られてほしかったと思います。</p>

発 言 者	内 容
会 長	<p>市としてオール日進で取り組むということです。</p> <p>地域共生社会については、文書として書くときにはどの範囲で書けばよいのか悩むところもあり、あまり深く書くと縛られますし、曖昧に書くと具体的ではなくなってしまうと思います。難しい部分だと思います。</p>
事 務 局	<p>地域共生社会の捉え方が違っているとのことでしたが、この部分はまだ不明確な部分もあると思います。行政としても、本来あるべき地域共生社会がどういったものなのかを、市民の方、団体の方と一緒に考えていかなければいけないと思います。</p> <p>中身について書かれていないとのこと指摘については、現状として書ける範囲で記載しております。今後、より良い地域共生社会の実現を目指して、市民の方や地域と協働して施策を進めていきたいと考えております。</p>
委 員	<p>ダイジェスト版の表紙について、説明にあった意味が伝わるように、表紙の裏などに絵の持つ意味の説明を加えるとよいと思います。</p> <p>作者の名前が字に隠れて見えません。日進出身のイラストレーターの方が描かれており、市の誇りにもなると思いますので、市として発信できたら良いと思います。</p>
事 務 局	<p>是非、そのようにさせていただきたいと思いますので、作者の方と調整を図ってまいります。</p>
委 員	<p>計画の施策 13 と 14 について確認させていただきます。施策 13 の 114 ページと資料 1-2 の 220 ページに書かれている、耐震化率について、国の方針では 2030 年度に「概ね解消」と掲げられていますが、目標値は 2025 年度 95%、2030 年度 97%となっています。何か意図があるのでしょうか。</p> <p>また、施策 14 の公園・緑地・景観で、117 ページに市民一人当たりの面積が県内平均を下回っていると書かれています。119 ページの個別指標に「市民一人当たりの公園面積」を入れてはどうでしょうか。</p>
事 務 局	<p>耐震化率の目標値は、これまでの実際のデータの積み上げや、持っている個別計画の値などに基づいております。この場で 95%と 97%の根拠をお示しすることはできませんが、耐震化については個別計画に基づいて達成率を定めており、同様の数値を使っているものです。</p> <p>施策 14 の市民一人当たりの公園面積については、目標値の設定が可能かどうか所管課と調整した上で、検討させていただきます。</p>
委 員	<p>国が「概ね解消」を目標としていますので、できるだけあらゆる手段を使って耐震化を進めていただきたいと思います。</p>
委 員	<p>ダイジェスト版の最後にある PDCA について、企業等における PDCA は目標を達成するために回すものとして認識しています。計画では第 5 次で 10 万人を達成できなかったなかで、第 6 次で 10 万人を目指す</p>

発 言 者	内 容
	<p>としています。第5次で10万人を達成できなかった理由を私たちは聞いていませんが、どの目標に対しても、計画を達成するためにPDCAを回していただきたいと思います。</p>
事 務 局	<p>計画の推進に向けた進行管理につきましては、資料1の第4編192ページから詳しく取り上げております。進行管理のイメージを194ページに記載しておりますが、検証は、現在も毎年度実施している、事務事業評価などにより行っていく形で考えております。</p> <p>目標の達成につきましては、指標の達成、事業実施といったことについて、第6次総合計画では、よりPDCAサイクルを連動させるマネジメントシステムを着実に進めていきたいと考えております。</p>
委 員	<p>各部署の連携はとても重要なことだと思います。乳児が幼児になり、小学校、中学校、高等学校と進み、ここに長く住み続ける市民となるので、その年代だけの施策に終わるのではなく、その施策がどのように次につながっていくかといった、縦・横のつながりが重要になってきます。これだけの膨大なものがうまくかみ合って、良いものになるようお願いしたいと思います。</p>
事 務 局	<p>行政運営についてお話しいただきましたが、今までにも委員の方から分野横断的に施策に取り組んでほしいとのご意見をいただいております。行政ニーズが多様化、複雑化する中で、これまでの機構の役割分担では対応しきれないということが増えています。今後、そういった課題に取り組む際には、分野横断的に取り組んでまいりたいと考えており、全庁的な体制を整えるように進めております。</p>
委 員	<p>この計画が策定された場合、内容について市民にはどのような方法で知らせるのでしょうか。</p> <p>市民との協働を強く主張されていますが、市民がこの計画を理解し、協力していかなければ達成されないと思います。また、ダイジェスト版は全戸配布されるのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>ダイジェスト版の全戸配布は検討しておりませんが、広報につきんで第6次総合計画の策定について掲載し周知する予定です。</p>
委 員	<p>説明会などは開催しますか。</p>
事 務 局	<p>第5次総合計画策定の際には、シンポジウムを開催した経緯がございます。今回も、以前お示ししたスケジュールにあるように、チェックアウトイベントなど策定市民ワーキングの皆さんにも集まっていただけの機会を考えておりますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、スケジュールは決まっていない状況です。</p>
委 員	<p>できるだけ説明会を開催するようにお願いします。</p>
委 員	<p>資料1の45ページ、包括的支援事業（在宅医療・介護連携推進事業）のところで、医療と介護の連携ということで、ICT、電子連絡帳の活用</p>

発 言 者	内 容
	が進められています。日進市はこの電子連絡帳に力を入れており、医療と介護の連携や、地域をつなぐことに活用されていますので、包括的支援事業の中に、この電子連絡帳の活用を入れると良いと思います。
事 務 局	所管課に確認をさせていただき、入れる方向で検討させていただきます。
会 長	それでは、他にご意見もないようですので、答申案のとおりとしたいと思いますがいかがでしょうか。
	(委員から異議等なし)
会 長	ありがとうございました。それでは、本審議会は第 6 次日進市総合計画について、この内容で答申することとします。
事 務 局	<p>ありがとうございました。今後、事務局において、誤字脱字等のケアレスミスなどは調整させていただきます。</p> <p>また、新たなデータの反映などが必要になった場合は、会長に一任いただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
	4 答申
	(阿部会長から近藤市長に対し、答申書を手交)
	5 その他
	(特になし)
	6 閉会